

福生 FUSSA

市議会だより

第 64 号

60 年 1 月 21 日

発行 福生市議会

東京都福生市本町5番地
電話 0425 (51) 1511 (代表)



献
寿

「今年も良い年でありますように」

穏やかな正月を迎え

初詣の列がつづきます

— 一月一日神明社で —

謹賀新年



議長
田村市郎



副議長
高水惣八

輝かしい昭和六十年の新春を迎え、御一家皆様方の御健勝を心からお慶び申し上げます。

日ごろ皆様には、市政に対する暖かい御理解と絶大なる御協力を賜っておりますことを厚くお礼申し上げます。

さて、八十年代は「地方の時代」と呼ばれて半ばが過ぎ、地方自治に対する住民の認識はますます高まっており、加えてわが国の経済はかつての高度成長の時代から低成長の時代へと移行し、市民生活及び市行財政に少なからず影響を及ぼしており、誠に厳しいものがあります。

国の予算も三年連続マイナスという超緊縮予算となり、大幅な地方転嫁もあり得ると考えられます。

このような情勢の中で、当市議会といたしましても市民の方々の要請に応えるべく、行財政の効率的な運営に努め、微力ではありますが職責を全うしてまいりたいと存じます。

年頭にあたり、市政並びに市議会に対し、なお一層の御支援をお願い申し上げます。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 林 | 在 | 村 | 石 | 赤 | 齋 | 井 | 石 | 上 | 木 | 原 | 遠 | 小 | 仲 | 加 | 東 | 堀 | 宮 | 指 | 村 | 森 | 関 |
| 田 | 原 | 野 | 川 | 星 | 藤 | 上 | 川 | 野 | 村 | 野 | 藤 | 野 | 村 | 藤 | 田 | 川 | 沢 | 田 | 尾 | 田 | 田 |
| 和 | 一 | 泰 | 行 | 寅 | 重 | 敏 | 洋 | 清 | 謹 | 正 | 良 | 保 | 榮 | 治 | 米 | | | | | | |
| 博 | 郎 | 一 | 人 | 異 | 吉 | 保 | 勝 | 藏 | 子 | 一 | 久 | 信 | 助 | 治 | 實 | 一 | 雄 | 次 | 男 | 吉 | 吉 |

第4回 12/10~12/20 定例会

審議日程

- | | |
|-----|-------------|
| 12月 | |
| 10日 | 本会議 |
| 11日 | 本会議 |
| 12日 | 厚生委員会 |
| 13日 | 建設委員会 |
| | 横田基地対策特別委員会 |
| 14日 | 総務委員会 |
| 18日 | 議会運営委員会 |
| 20日 | 本会議 |

昭和五十九年最後の第四回定例会が、十二月十日召集されました。この定例会には、昭和五十八年度の各会計の決算認定の審査報告や、陳情書二件等が上程されました。

〔第一日目〕 会期を十二月十日から二十日までの十一日間と決めた後、議員と職員との十二月期末手当の支給割合を定める条例が追加提案され、それぞれ可決されました。

引き続き、通告のあった五人の議員が都市基盤の整備や福祉行政について一般質問をし、市長の考えを聞きまし。

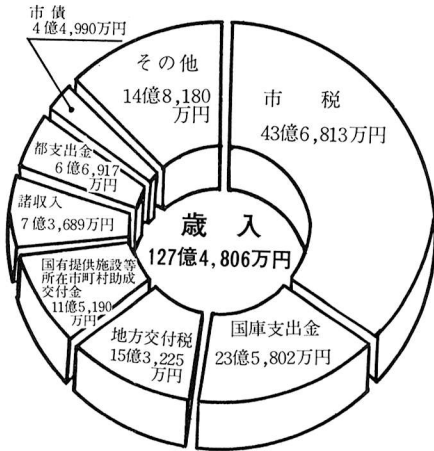
〔第二日目〕 前日に引き続き一般質問を行った後議案審議に入り、閉会中に各委員会で審査された五十八年度の一般会計決算と各特別会計の決算認定の審査報告がなされ、それぞれ認定、五十九年度の一般会計と三特別会計の補正予算については各常任委員会に付託、陳情二件についても担当委員会に付託されました。

〔第三日目〕 各常任委員会に付託された五十九年度の一般会計及び三特別会計の補正予算の審査報告が委員長よりなされ、それぞれ可決、陳情一件が不採択となりました。

また、十二月二十四日で任期満了となる福生市選挙管理委員会委員と補充員の選挙が行われ、各四人の方々が決まりました。

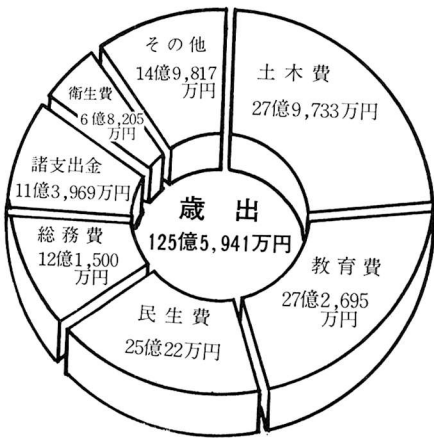
125億5,941万円を認定

昭和58年度一般会計決算



昭和58年度

一般会計歳入歳出決算表



特別委員会のやりとりから

第三回定例会に上程され、昨年十一月に開催された昭和五十八年度福生市一般会計決算審査特別委員会（赤星人委員長、齋藤異副委員長）の審査報告が第二日目になされ、起立により採決した結果賛成多数で認定されました。

依然厳しい
不景気の風
《歳入》

問 特別徴収が五十八年度は三〇％マイナスになっているが、その理由と不納欠損額、収入未済額を聞きたい。
答 五十七年度は五四・三％で、五十八年度は五四％と確か

に減っているが、実際には所得が伸びなかったことよって納税者数が減ったためと思われ、不納欠損額については五十八年度の納税件数で六十件の十二万五千四百七十七円、収入未済額は五百六十六万三千六百一十円となっている。

問 基地交付金の算定基礎である基地の資産は伸びていると云うが、どの程度の伸びか。

また、交付金もそれ相当の伸びがあるのかどうか聞きたい。
答 基地の資産は土地が約三万一千七百平方メートル、建物が約一万二千六百平方メートルとそれぞれ増えており、金額にすると土地・建物・工作物を合わせて三十二億一千八百三十七万円で前年度対比三・二％の資産増となっている。

交付金の伸びについては、国へも再三働きかけをしているが、総枠の伸びがないため苦慮しているところだが、今後も最大の努力を払い基地交付金の予算獲得に努力していきたい。

問 児童措置費負担金で、収入未済額が現年度分で約六万五千八百円、過年度分で八万八千八百円あるがその理由を聞きたい。

監査意見

財政運営はほぼ良好

五十八年度の歳入決算額は百十四億六千三百万円で前年度に比較し九億七千九百万円、歳出決算額は百二十二億六千五百万円で前年度に比較し九億六千三百万円と、歳入歳出ともそれぞれ増加している。

歳入では、市税の伸び率は低かったが地方交付税、寄附金等が増加し、歳出は基金への積立金、公債費の繰上償還金等が主な増加である。

単年度収支額は七千九百万円の黒字であり、実質単年度収支額は四億九千九百万円の黒字であり財政力指教も〇・七一と依然低く、市民の担税力は低く抑えられている。

経常収支比率も七三・四％で前年より二・六％低くなっており、経常一般財源に余裕があることを表わしている。

ただし、公債費比率についてみると、一一・四％と前年度に比べ〇・五％以上率が上昇しているが、財政硬直化の原因になることから慎重を期すべきである。

以上のようなことから、本市の財政は、地方財政運営の基本原則に従い、おおむね良好に推移してきたものと思われる。

答 保育料の未納については常時督促をしており、保育園の協力も得て面接も行っているが、中にはボーナスまで待ってくれと言う方もいる。

現年度分の収入未済額についてはすでに五人分の五万六千五百十円は収入されており、過年度分については他市へ転出しているため出張して督促に努めているが、郵送で一部送金してきたこともあり、今後も徴収に努めたいと思っている。

テニス人口も増え

毎月抽選の活況

問 体育施設使用料のうち、市営プールとテニスコートの使用料及び利用状況を聞きたい。

答 市営プールの使用料は、入場料とロッカー代で九十一万六千五百十円で、テニスコートは利用者が多く毎月抽選をしている状況である。夜間の利用状況は二五％前後になっている。

問 道路占用料として徴収した内容を聞きたい。

答 占用料を取っているのは電柱、有線、地中線、ガス管、添架広告物、巻付広告、消火栓標識、バス停留所標識が一件ずつ出され、ほかに足場囲いとして一九九件申請が出されすべて納付されている。

経費の節約に

今後とも努力

＜歳出＞

問 庁舎の清掃や電話保守等の委託料は増えているが、空調設備の保守委託料等は逆に減額になっているが、契約の方法と指導、監督の考え方を聞きたい。

答 冷暖房の空調や火災報知器等の関係につき、業者の経営感覚の問題もあると思うが、見積もり合わせをした結果前年よりも安い委託料になった。

また、委託に限らず工事請負関係の現場での管理、監督という面においても指導等しているが、今後も十分留意しながら対応したい。

問 行政事務連絡員の退任記念品についてですが、以前は一期二年間で感謝状と記念品を出していたが、現在は二期四年間となっているようだが、以前のようにできないものかどうか。

答 一期二年でという連絡員さんの希望もあるようですが、内部で検討した結果二期になったという経過がある。

今後、全体を見直す中で検討する必要があるかと思うのでさらに研究していきたい。

問 敬老の日の記念品代金と

して一人当たり千七十九円、前年度は一人当たり千三百七十五円とかなり差が出ているが、その基準単価はどうなっているのか聞きたい。

答 記念品の単価としては千四百円程度の予算で見積もったが、五十八年度においては枕を指定し、結果的に千七十円と値段が安かったためである。

問 仮称市立福生第八小学校用地取得に要する経費として、約九千二百五十万円が支出され、用地取得も近く終了すると思うが、数年前と違い児童数も減ってきており早急に八小を建設することは考えられない。

市全体の大きな問題として考えていくべきと思うがどうか。

答 当市の基本構想で六十年には人口が六万人ぐらいになると予想していたが、人口の伸びも鈍く、児童生徒の伸びも鈍化している現状である。

用地取得も本年度で終わる予定だが、その時点で内部調整し早急に決定したいと思う。



厳しい状況下で

好ましい財政運営

＜賛成＞

国が、財政再建を行政の改革によって求め、厳しい抑制策をとっている中で、五十八年度予算の編成から執行に当たっては、大変厳しい状況であったと思われるが、決算状況は歳入で九・三％、歳出では四％とそれぞれ前年度より増え、当初予定された施策もおおむね達成されていると思われる。

また、財政構造の目安としての経常収支比率も七三・四％と、前年に比べ二・六％低くな



財政運営に疑問

＜反対＞

政府の臨調行革路線と合わせ東京都も、財政再建の名のもとに住民負担の増加を押しつけている。

このようなときこそ、市当局は市民生活を守る立場で行政を推し進めていかなければならぬと考える。

市長は、五十八年度の施政方針の中で、国や都に対して補助金等の確保に努めるかたわら、適正な受益者負担により財政基

って財政運営上好ましい結果となり、その努力に対し敬意を表するものである。また、自主財源に乏しい財政の中にもかかわらず将来に備えて二億八千万円の基金を用意するとともに、一億二千三百万円の繰越金ができただことは、誠に心強く感ずるものである。

今後、厳しさを増す経済状態のもとで、行政水準を低下させることなく市民の要望を満たしていくことは難事であると思うが、財源の確保にあたり、経常経費の抑制を図るとともに、効率的運営に向けての一層の努力をお願いし賛成討論とする。

盤の確立を図りたいと言われたが、政府の方針に理解を示しており、日常的に受けている基地被害を考えると、到底認めるわけにはいかない。

福祉の施策では、一部に新規事業もあったが、各種の福祉関係給付額は前年度並みの水準に引き上げを行った。

財政的に見ても二億八千万円を財政調整基金に積み立てる等市民要求が山積している中で、誠に冷たい市政を行ってきた。

このような政治姿勢を貫いた当決算に反対する。

一般質問



第4回定例会では
5人の議員が一般
質問を行いました

福生駅周辺の整備と

橋上駅化の考えは

質問 ① 福生駅周辺開発の最重要課題として、西口再開発問題がある。これは市長の公約でもあるが、五十七年に再開発基本計画が完成し開発担当もできたが、現況はほとんど進展をみていないのが実態である。現

計画のもとで今後どう進めようとしているのか。

② 東口も区画整理が完成し立派になったが、駅前から基地に向かう富士見通り沿いの飲食店街周辺も再開発すべきと思うがどうか。



にぎわいを見せている福生駅

③ 福生駅の橋上化は、東西連絡通路ができる際の条件として、その促進期成会もできているが、朝夕ラッシュ時の緩和策としても早期に橋上駅にすべきで

あると思うがどうか。

④ 西口再開発計画の調査でも、顧客の七割は自動車を利用しての結果が出ている。当市の中心的商業地域である西口周辺の発展のために、駐車場問題に積極的に取り組むべきであり、その考えはあるか。

市長 ① 西口商店街の商業上の地盤沈下現象はますます大きく、当市の商業振興上大きな問題で、再開発は必要であるという従来からの考えは変わらない。五十七年から再開発協議会の協力も得て関係者への説明会を開き、昨年からは公共施設計画に絞って議論していただいた。今後も関係者の意識高揚を図り、合意形成ができるよう努力していきたい。

一小の移転問題も話に出ているが、計画の進捗中で考えていきたいと思う。

② 東口周辺については、四十六年に約七十ヘクタールについてマスタープランを発表し、地元説明会を開いたが、この地

域の権利関係が非常に複雑であり、区画整理区域から除いた経緯がある。将来のために面的整備をするのが最良と思うが、西口や熊川地区の開発の見直しをつけることに専念したいと思う。

③ 橋上駅は東西連絡通路と同一の問題であり、懸案事項でもある。西口のまちづくりの一環として駅前広場の整備計画とあわせ実施に努力したい。この事業費として防衛補助の要求もしたが、むずかしいようであり、できれば関係官庁の御協力も得て単費でもやりたいと考えている。

④ 駐車場の問題は、モーターリゼーションの時代となり駐車場の必要性は認められるが、公で設置すべき理由の定義づけが大変むずかしいわけである。

西口周辺は路上駐車も多く、道路交通上大変危険な状態であるので、交通安全の確保と位置づけて公共駐車場として整備ができればと考えている。

建設部長 ① 商圏人口三十万人については、近隣を含めた西多摩全域の人口を五十万人として、道路や交通網が整備されれば三十万人程度は吸引できる商圏人口とみている。

財政計画も再開発に基づき国・都・市の負担が基準により示されているが、保留床処分金について地主と借地人との権利関係が多く、これら関係者の協力が大前提となるので積極的に働きかけていきたいと思う。

コミュニティ施設としては、オートギャラリーとか多目的集会ホール等が考えられている。

主要幹線の整備

今後の見通しは

質問 ① 市内には都市計画

街路として決定した幹線道路がたくさんある。例えばI・三・一号线も三十六年に決定をしたが、保健所の所で止まっており、

関係住民の利権も制限されたままとなつている。またⅡ・二・二号線や通称多摩橋通り等が未完成だが、今後の工事について聞きたい。

② 国は首都圏中央連絡道路として、中央自動車道から関越自動車道に至る四十キロを七十年完成の目途で計画を進めており、サマーランド近くにインターチェンジができると聞いている。この際当市も西口駅前通りから永田橋を渡って秋川方面に通ずる道路を拡幅整備し、インターチェンジと通じてお客を誘致したらどうか。

建設部長 ① 当市には都市計画街路として十五路線の延長二十二キロあり、約五〇％が整備されているが、未執行の計画路線にある関係者に対しては、都市計画法上で構造物等の制限が加えられ迷惑をかけているが、こうした路線の廃止や変更は他市町村との関係もあってむずかしいと思う。Ⅱ・二・二号線やⅡ・二・四号線の工事も膨大な経費がかかる事業だが、熊野橋から井上米店の前を通って富士見通りから国道に通ずるルートで市は要望しており、この沿線の開発計画等がある場合には、市でも積極的に取り組んでいきたいと思う。

市長 ② 西口再開発とも関

係するが、商業力回復のために道路整備が必要と思つており、近いうちにこの調査委員会

危ない東口広場

改善策を早急に

質問 福生駅東口も立派になり、広場で親子連れがくつろぐ姿も見られるが、その周辺歩道には自転車があふれ違法駐車も多い。また、広場周辺の御影石も高くその上に植木があるため、歩道を渡る子供の姿が見にくい状態である。この改善と違法駐車対策について聞きたい。

市長 駅前広場を開放して半年になり心ない駐車違反があと



違法駐車が目立つ東口広場

とか駐輪場を設けたいと思つているが、駅周辺の土地確保は非常に困難であり、今後関係者の御協力を得られるよう一層努力したいと思う。

も開かれるので、当市にとってプラスとなるよう努力したい。

老人の生きがい対策と

保育の充実を図れ

質問 ① 老人福祉対策はさまざまな施策があるが、老人の共通の願いは経済的にも安定した生きがいのある生活である。各種援助の継続と内容充実について聞きたい。

② 年々児童も減少し各保育園でも近い将来定員割れは必至である。特に民間保育所の健全運営と保育内容の充実のために、産休明け保育を実施すれば働く婦人の要求解決と定員割れの歯止めとなると思うがどうか。また、都立保育園移管問題は、羽村町では移管を受けると聞くが、市長の考えはどうか。

市長 ① 老人保健法の施行による保健事業として機能回復訓練以外はすべて行っており、老人に対する疾病等の予防のためさらに内容充実を図り、健康管理をPRしたい。また、四十歳以上の方に個別通知を出し、受診率向上と健康管理の認識が深まるよう努力したい。老人全般の対策についても研究をし、施策の充実を図ってきたい。

② 市でも民間保育園関係者に保育内容充実等提唱してきたが、一園ですでにゼロ歳児保育

議会日誌

12日	10日	7日	11日	31日	30日	26日	24日	21日	20日	19日	16日	15日	12日	3日	1日	10月
昭和三十八年度福生市一般会計決算審査特別委員会	東京都三多摩地区消防運営協議会総会	東京都市議会議長会理事會及び総会	横田基地対策特別委員会行政視察(9日まで)	青森県三沢市視察来市會	青梅・羽村・福生地区都市下水路組合議會議事會(1日まで)	西多摩農業共済組合議會議會(26日まで)	全国市議會議長會基盤協議會(26日まで)	東京自治會館組合議會議會(26日まで)	東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議會議會	市議會だより編集會議(18日まで)	総務委員會行政視察(18日まで)	芦屋市視察来市	西多摩衛生組合議會議會(17日まで)、兵庫縣建設委員會行政視察	八高線八王子・高麗川間複線電化促進協議會陳情、第四十六回全國都市問題會議(5日まで)	第三回定例会(第四日目)、全員協議會	

を始め、来年から四園で生後五カ月から受け入れるようであり、障害児保育も市立二園と民間二園で実施している。今後も側面から協力していきたいと思う。都立保育園の移管問題は、十月に都立保育園のある二市二町の会議があり、公立公営では引き受けられないとの再確認をしたが、羽村町では来年四月から受け入れるようである。

健康管理のため

一日人間ドックを

質問 年々健康意識が高まりつつある昨今、各種健康診断も行われているが受診しにくい現状である。一回で広範囲の検査ができる一日人間ドックの開設と、市民総健康管理の考えについて聞きたい。

市長 市では四十歳以上の方を一般健康診査として健康センターで実施しているが、集団診査方法を改め、市内の医療機関にお願いし、個別通知をして市民の健康管理に努めていきたい。人間ドックについては、短期間にすべてのチェックができ、疾病の早期発見早期治療に役立つものと思う。医師会の御意見は現行の各種健康診査の内容容充実で十分対応できるのでは

ないかとの考えであり、その方向で進めていきたいと思う。
福祉部長 老人保健法ではやっていないX線検査、血液検査等の充実をし、現行の実績としては、一般検診が四十歳以上で九百数十名が受診し、約二百四十名が要精密検査となっていて

第4回定例会を

傍聴された市民の方々

東 浦 春 浪
須 釜 亮 次
松 山 清
西 田 耕 介
中 野 末 夫
市 川 芳 忠
池 田 満 智 子
(敬称略)

都立保育園の移管

今後も反対の姿勢か

質問 羽村町では町立町営で都立保育園移管を受け入れたようであり、都立保育園のある二市二町の足並みが乱れたことになる。市長は今後も移管反対を独自で貫く考えか。

市長 以前からの受け入れる考えがないことには変わらな

い。羽村町では最善の方法との結論を出したと思う。二市一町としては公営公立では受け入れられないとの再確認をしており、今後変化があれば議会側とも相談したい。

熊川地区開発で

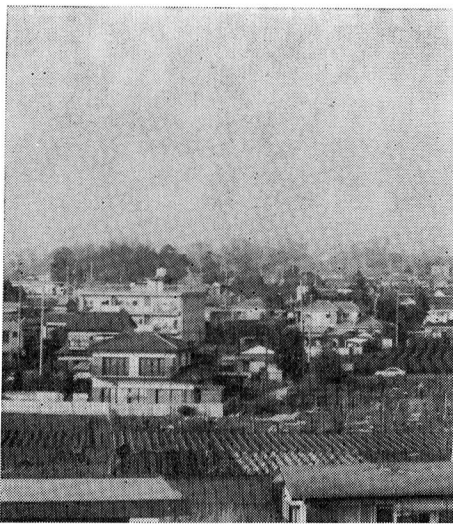
建ぺい率の引き上げを

質問 福生地区に比べて熊川地区は開発も遅れ、建ぺい率も三割と低い。今後熊川地区の開発を進め建ぺい率を引き上げるべきだと思いがどうか。

市長 大きなテーマであるが第一種住居専用地域は、良好な住環境として建ぺい率、容積率

とも制限が厳しいものとなっている。現行は四十八年に指定され、五十六年に見直しがあったが、都市基盤整備との関係で、見直しがされるまでは現在のままでおくのが肝要と思う。

区画整理をすれば変更も可能だが、都市計画審議会等と協議



開発が待たれる熊川地区

し然るべき指定が図られるよう努力したい。
建設部長 五十九年度で行っている熊川地区開発の調査面積は約六十ヘクタールで、今後地元説明会等を進めたい。熊川地区全体の



25日	20日	18日	14日	13日	12日	11日	10日	5日	4日	3日	12月	30日	28日	22日	21日	20日	19日	16日	15日	14日	13日	
会基地協議会陳情	目) 29日 全国市議会議長	目) 全国協議会	目) 第四回定例会(第三日)	目) 第四回定例会(第三日)	目) 第四回定例会(第三日)	目) 第四回定例会(第三日)	目) 第四回定例会(第三日)	目) 第四回定例会(第三日)	目) 第四回定例会(第三日)	目) 第四回定例会(第三日)	目) 第四回定例会(第三日)	目) 第四回定例会(第三日)	目) 第四回定例会(第三日)	目) 第四回定例会(第三日)	目) 第四回定例会(第三日)	目) 第四回定例会(第三日)	目) 第四回定例会(第三日)	目) 第四回定例会(第三日)	目) 第四回定例会(第三日)	目) 第四回定例会(第三日)	目) 第四回定例会(第三日)	目) 第四回定例会(第三日)

約七〇％が建べい率三割となっており、実際に熊川地区と福生地区の土地の価値観は変わらな

いという実態から、説明会等を通じて解決に努力したい。

米軍人関係の交通事故

市の対応はどうか

する見解を聞きたい。

質問 基地には軍人軍属が一万数千人いるといわれ、独自のナンバーによる車が市内を走っている。こうした車の事故について対応を聞きたい。また、九月から十一月の離着陸数と「みちのく84」の日米合同演習が九月に行われ、フィリピンからファントムが四機飛来し騒音がひどかったが、この合同演習に對



中継基地として重要な横田基地

係機関に再三要請しているが、今回のファントム飛来の件について防衛側に問い合わせたが情報が入っていないことである。
市民部長 軍人軍属の交通事故は、一月か

ら十一月までで物件事故が九十件、人身事故が五件となっている。外人のY Eナンバーの車の台数が約六千台、二輪車が四百七十七台となっている。

九月から十一月までの離着陸数だが、飛行総数が九月が千三百六十七回、前年が千五百十五回で百四十八回の減、十月は千九百二十三回、前年が二千五百二十回で五百九十七回の減、十一月が二千二百二十回、前年が千八百三十一回で二百八十九回の増となっている。

企画財政部長 外国人の交通事故だが、三カ年を調べたところ五十八年に二件あり、自動二輪で日本女性を死亡させた事故、それに自動車で日本女性に怪我をさせた二件があり、これらについて交通事故相談の弁護士等に市民が相談し、横田防衛施設事務所へ連絡している。

基地からの被害

市民生活への影響は

質問 当市に横田基地が存在する限り市民生活の安定は守れないし、基地から発生する影響も市民生活全般にわたると思われるが、その考えを聞きたい。

市長 基地による影響評価は具体的、係数的に表わすことは

困難だが、飛行機騒音とか事故の不安感、あるいは行政面積の三分の一を占めることによる土地利用計画、商圏の狭さから経済発展の阻害、軍人軍属による交通事故や治安、風紀上の問題などが考えられる。反面日米間の交流や公共施設整備等のメリットもある。基地は国の施策により存在しており、その現実を前提として市民生活への障害除去のため諸施策を積極的に進めたい。

教育長 基地による青少年の影響については、判断することは困難だが、過日の青少年問題協議会では、最近の中学生の非行化問題が論点となり、警察側、児童相談所、保護司関係等からも話が出たが、米軍による影響ということはない。今後重点を置いて対処していきたい。

市発展のため

基地下にトンネルを

質問 横田基地によって当市は武蔵村山や瑞穂と遮断されているため市発展に大きな障害となっている。この際横田基地の下をトンネルで貫通させ、新青梅街道に直結させたらどうか。

市長 御提案いただいた件については、防衛施設庁等に考え方を提言したいと思うが、大変むずかしい問題ではないかと考えている。

不経済なハイタンク方式

改善の考えは

質問 公共施設の男子用トイレは、ハイタンク方式の施設もあり、一定の時間が来ると使用しなくても水が流れるようになってきているが、こうしたトイレを改善すれば節水や経費の節減にもなると思うがどうか。

市長 水資源の枯渇が叫ばれている現在、市を挙げて取り組まなければならない問題である。各施設を調査し改善できるところは改善して節水に努力していきたい。

建設部長 通常はタンク式と

議 会 を 傍 聴

し ま し ょ う

次 の 定 例 会 は

3 月 です。

押しボタン式があり一長一短がある。市では学校を除く十五施設について調べたところ、半数ずつになっている。配管の口径も施設の規模や距離等によって決めており、建設予定の田園学供や加美の屋外運動場の管理棟は押しボタン式である。

固定資産税の評価替え

当市はどのくらい

質問 六十年度は固定資産税の評価替えの年次であるが、国や都では二〇〇程度引き上げるよう指導しているが、市ではどう考えているのか。

市長 歳入の根源は市税であり自主財源として重要である。現在都の指導で評価替えの作業を進めているが、平均二〇〇アップを下回る率で協議が終わった。

企画財政部長 評価替えの基準価値格として五十七年度より平均一三・一〇の上昇率で十九万円、宅地は平均一八〇で三万五千三百余円で都との協議が終わったが、基準価値格が隣接市町より高いと思われるので、今後評価替え時点で調整したいと思う。

新しい選挙管理 委員決まる

行政委員会の一つに選挙管理委員会という選挙事務を公平かつ適正に管理する組織があり、任期は4年間となっていますが、昨年12月24日で任期満了となるため、最終日に選挙が行われ、次の方々が新しい委員及び補充員に決まりました。

- 委員 —
- 吉岡喜代造 (熊川 759)
 - 板寺 昌一 (本町88)
 - 大谷 利光 (志茂46)
 - 平原 治作 (福生1,210)
- 補充員 —
- 天野 悦年 (熊川 182)
 - 中森 信行 (本町91)
 - 鈴木 幸恵 (牛浜 157—2)
 - 窪田 成司 (福生 546) (敬称略)

親も安心できる

緊急時の保育制度を

質問 乳幼児のいる母親が入院などする場合、保母や看護婦の資格者に委託して、緊急時の一時的保育制度を設ける考えがあるか。

市長 核家族化や地域社会の連帯感の変化する中で、市もその対応を十分考えなければならぬが、最近の児童数の減少傾向にかんがみ、今後の保育行政のあり方と合わせて検討する必要があると思うので、市内の保育関係者と協議し、対応策を考えていきたい。

東福生駅の無人化

市の対応策は

福祉部長 現実問題として認可保育所が二カ所あるが、保育の半分という状態であり、保育園も同じ減少傾向であるので一時保育等について、関係者と協議したいと思う。

質問 新聞にも出たが、八高線の合理化として東福生駅を無人化するということだが、このことは市民の生活にとって不便を生ずることは間違いない。

市長 国鉄では八高線の駅業務の見直しを行い、最も乗降客

の少ない東福生駅を無人化するので協力願いたい。実施は二月二十七日からの申し入れがあり、市では無人化しないよう要請しているが、今後も議会側ともども国鉄に対し、強く要請していきたい。

買収後の八小予定地

今後の利用計画は

質問 八小用地として買収してから十年近くたち、市有地として放置されたままである。今後の計画を立てるべきであるが、当面地域住民のために有効利用を図るべきであると思う。

教育次長 土地買収等が完了し、行政財産として教育委員会が引き継いだ後に、利用方法を協議したい。

総務部長 残っている移転家屋の取り壊し等が終われば、今年度中には用地買収が終わると思うが、現在は普通財産として管理しており、貸付使用の申し込みがあった場合は、公共的、広域的な使用に限り貸している。



有効利用が望まれる八小建設予定地

市営墓地

設置の考えは

質問 墓地といえば寺院墓地が一般的であるが、限度もあって求めにくい状態である。公営墓地も応募者が多くて競争率も年々高くなっている。当市でも市営の墓地を設ける時期にきていると思うがどうか。

市長 市の実施計画には入っておらず新しい事業なので、今後の検討課題といたしたい。また広域圏の中で話題として当市から出している。

福祉部長 市内には六カ所の寺院で二千二百八の墓地があり、将来は六百四十七増設の計画があるということである。

緑地の確保や水質汚染

今後どう対処するのか

質問 ① 緑地保全は人間が生きていく条件として重要であり、自然を破壊すると取り戻すことは困難である。当市にはまだ緑が残っており樹林地保全の対策を聞きたい。

② 議会では再三質問の出る青梅・羽村・福生地区都市下水路の水質汚染問題だが、当市はこの組合の一員としてみれば、加害者であり逆に流末の被害者

の立場でもある。この水質の改善はされたのか、また新たな公害問題の発生源と思われる分水路計画の概要を聞きたい。

③ 秋川漁業協同組合から都市下水路組合に対して損害賠償の提訴をされたと聞か、その経過等を聞きたい。都が水利権を盾に少量しか流さないために汚染問題などが起こる要因であり、都の責任でもある。多摩川には雑木等が生え、洪水時には流れの防げとなり、堤防破壊の危惧もある。これらの対策を聞きたい。

市長 ① 市街化が進み緑地も年々減少傾向にあるので、計画的に保全していきたい。御協力をいただき熊牛緑地や加美緑地の整備ができた。今後は原ヶ谷戸緑地について関係地主の御理解を得て、来年度借地として保全し、熊川武蔵野地区についても公共緑地とするか、都市計画上の緑地とするか調査検討したい。また、下の川の傾斜部分も護岸対策と合わせて検討したい。

② 都市下水路の汚染原因は、生活の雑排水であることが調査でわかったが、根本解決としては公共下水道の整備と水洗化の普及にある。年々浄化の傾向にあるが、関係市町にさらに認識していただくよう努力した

い。分水路計画は、四十八年に流域下水道計画が決定し、公共下水道の基準が適用され流量が増加すると考えられる。

また、羽村町の区域で豪雨の際溢水したため、周辺住民から都市下水路組合に陳情が出され、このため羽村町では分水路の早期事業化計画の検討がされており、それによると事業認可が六十年十月ごろ、着工が六十年ということである。

市民部長 ① 市内には樹林地として約二十二万三千平方メートルあり、このうち一般山林が約十六万五千平方メートル、市街地などにある介在山林が約五万八千平方メートルとなっている。

建設部長 ③ 訴訟問題は、水質等について以前から協議され、文書も出されていたが、八月十六日、十七日にかけて鮎などの川魚が斃死し、その原因が都市下水路にあるとして損害賠償請求が八王子地裁にされたものだが、組合側としても調査したがその原因は明らかにされなかった。そのため斃死原因は必ずしも都市下水路の排水によるものではないとの判断で応訴したものである。多摩川の流量等について、都や国にも五十七年ごろより改善要望をしてきた

が、早い時期に現地調査をする

よう要望したい。河床の雑立木についても、河川管理責任のある建設省に要望しているが、自然保護の面から調査をしており、早急に結論が出るよう要望したいと思う。

福祉会館の備品等

整備の要がある

質問 今年度で福祉会館の改修工事をするが、内部の備品等も整備すべきだと思うがどうか。

市長 高齢化社会に向かい事業の内容充実を図っていかねればならない。老人向けの健康器具など設備の充実を図り、老人に喜ばれる福祉会館にしていきたい。

事故防止のため

環境の改善を

質問 リサイクルセンターには市の職員もいるが、夏の暑さ、悪臭等がひどく、シャワーなどもない悪い環境で働いており、事故防止のためにも改善すべきであると思うがどうか。

市長 地域の皆さまに御理解をいただき、順調に運営しているが、御指摘の点についても十分点検していきたいと思う。

請願・陳情

▽不採択△

○陳情第五十九一―号
国立病院・療養所存置に関する陳情書
武蔵村山市学園二―三七―一
丸毛 静香氏
―昭59・2・24提出―

▽継続△

○陳情第五十九一―四号
横田商栄会駐車場設置に関する陳情書
福生二、一七二
北村 安忠氏
―昭59・9・7提出―

○陳情第五十九一―五号
租税教育の推進に関する陳情書
羽村町羽東一―一六―八
池永 一郎氏 他二十三人
―昭59・9・17提出―

○陳情第五十九一―六号
衆議院議員定数格差是正に関する陳情書
国分寺市東戸倉二―二一―六
佐竹 勝義氏
―昭59・10・19提出―

○陳情第五十九一―七号
「土地価格の評価替えによる固定資産税の増税を中止」に関する陳情書
志茂五三
青鹿 頼三氏
―昭59・11・19提出―